

町民人権講座

《 通算126回 》

この世界の隅々に

速報！

**なびあすで
上映決定！！**

昭和20年、広島・呉。
わたしはここで生きています。

日本中の想いが結集！一〇〇年先も伝えたい、珠玉のアニメーション



主演：のん 原作：この史代 (双葉社刊) 音楽：コトリンゴ 監督：片渕須直

7月23日(日) ① 14:00 (13:30開場)
② 19:00 (18:30開場)

美浜町生涯学習センターなびあす

**全席自由
入場無料**

町内、町外を問わず
どなたでも
ご参加いただけます。



すずさんの世界を彩る女優・のん、音楽・コトリンゴ

主人公すずさん进行するのは女優・のん。片瀬監督が「ほかには考えられない」と絶賛したその声でやさしく、柔らかく、すずさんに息を吹き込みました。すずさんを囲むキャラクターには緒谷佳正、稲葉菜月、尾身美詞、小野大輔、瀧めぐみ、岩井七世、牛山茂、新谷真弓ら実力派が集結。松竹新喜劇の座長・湯谷天外も特別出演しています。本作の音楽はコトリンゴが担当。ナチュラルで柔らかな歌声と曲想が、すずさんの世界を優しく包みこみます。

監督・片瀬須直 × 原作・この史代 —信頼しあう2人のタッグ 再び—

監督は片瀬須直。第14回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞の前作『マイマイ新子と千年の魔法』(09)は観客の心に響き、異例の断続的ロングラン上映を達成しました。徹底した原作追及、資料探求、現地調査、ヒアリングを積み重ね、すずさんの生きた世界をリアルに生き活きと描き出した本作には紛れもなく今の私たちの毎日に連なる世界があります。

原作はこの史代。第13回メディア芸術祭マンガ部門優秀賞ほか各メディアのランキングでも第1位を獲得。綿密なリサーチによる膨大な情報と、マンガ表現への挑戦がさりげなく織り込まれており、その創作姿勢と高い完成度から多くのマンガファン・書店員から熱い支持を得ています。NHK「花は咲く」アニメ版でタッグを組んだ2人が再び結業し、新たな感動をお届けします。

「この映画が見たい」の声が生んだ、100年先に伝えたい珠玉のアニメーション

クラウドファンディングで3,374名のサポーターから39,121,920円の制作資金を集めた本作。日本全国からの「この映画が見たい」という声に支えられ完成した「この世界の片隅に」は、長く、深く、多くの人の心に火を灯し続けることでしょう。100年先にも愛され続ける映画が、ここに誕生しました。



STORY

1944(昭和19)年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の勤・兵へとお嫁に行くことになる。新しい家庭には、夫・周作、そして周作の両親や義妹・登子、弟・唯実。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。1945(昭和20)年3月。兵は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日が続く。そして、昭和20年の夏がやってくる——。

のん

緒谷佳正 稲葉菜月 尾身美詞

小野大輔 瀧めぐみ 岩井七世 牛山茂 新谷真弓/湯谷天外(特別出演)

原作: この史代『この世界の片隅に』(双葉社刊) / 企画: 丸山正雄

監督: 片瀬須直 / 脚本: 片瀬須直 / キャラクターデザイン: 竹原拓也 / 作画監督: 松原美典 / 美術監督: 林孝輔 / 音楽: コトリンゴ / プロデューサー: 高木正樹 / 監修: 岩井七世 / 編集: 林孝輔

制作会社: GENDOO / アニメーション制作: MAPPA / 配給: 東京ゲートブリック / 制作: 『この世界の片隅に』製作委員会 / 監修: 長文化庁文化庁文化芸術振興課補助金

konosekai.jp @konosekai_movie #konosekai_movie

©この史代・双葉社 / 『この世界の片隅に』製作委員会

第90回
キネマ旬報ベスト・テン
日本映画ベスト・テン第1位
日本映画監督賞 受賞

第40回
日本アカデミー賞
優秀アニメーション作品賞 受賞
優秀音楽賞 受賞

【と き】 2017年 7月23日(日) 【ところ】 美浜町生涯学習センター なびあす

昼夜2回上映 ① 14:00 (13:30開場)
② 19:00 (18:30開場)

上映時間
約129分
全席自由
入場無料

主催: 美浜町人権尊重啓発協議会
共催: 美浜町教育委員会

お問い合わせ 美浜町生涯学習課内
人権協事務局 (電話 32-1212)

美浜町生涯学習「浜さんカード」連携事業